

食品メーカー J 社様

乳製品の得意先供給に当社共配センターを活用

自前拠点体制に比べ物流コストを大幅に削減

現在、乳飲料や乳製品を生産・販売する食品メーカーの J 社様には、東北・関東・中部・北陸エリアに点在する得意先への製品供給拠点として SBS フレックの共配センターをご利用いただいております。当社は 4 エリアについて計 5 カ所の共配センターで庫内オペレーションサービスと輸配送サービスを提供。J 社様の関東および関西の生産工場から送られてくる製品を各地の共配センターで一時保管し、オーダーに従ってピッキング・仕分け・荷揃えを済ませた後、お取引先様である食品卸の物流センターや小売業の一括物流センターなどに納品するまでの一連の業務を請け負っております。



J 社様は、チェーン小売業への販売比率が高まるなど商圏が全国各地に拡がり、さらに各種お取引先様から受注～納品までのリードタイム短縮が求められる中、物流拠点ネットワークの再構築に乗り出しました。自社投資による物流拠点網の整備はコスト負担増になることから、物流専門家へのアウトソーシング化をご決断され、そのパートナーとして当社をお選びいただきました。SBS フレックの共配センターは、複数の食品メーカー様に共同でご利用いただいているため、1 社当たりのオペレーションコストを低く抑えることが可能です。

実際、J 社様は共配センター利用への切り替えによって物流コストの大幅削減に成功しました。また、お得意先様から要求される納品リードタイムの遵守、物流管理品質の維持・向上なども実現しております。